

Ⅱ -1 令和7年度第1期企画展 記録

『弥生のもものづくり—青谷上寺地の匠の技—』

開催趣旨

「とっとり弥生の王国」の一翼を担う「青谷上寺地遺跡」からは、これまでの弥生時代のイメージを覆す様々な出土品が奇跡的な保存状態で見つかっています。これらの中には、美しい木製の器や骨角製の装飾品をはじめ、現代の視点から見ても高度な「ものづくり」の技術で造られているものがあります。

今回の企画展では、青谷上寺地遺跡の「ものづくり」に焦点を当て、弥生の匠の技を今に伝える様々な出土品を紹介するとともに、重要無形文化財保持者（人間国宝）の方々に青谷上寺地遺跡の出土品を復元していただいた作品を展示しました。

会期

令和7年5月31日～令和7年9月7日

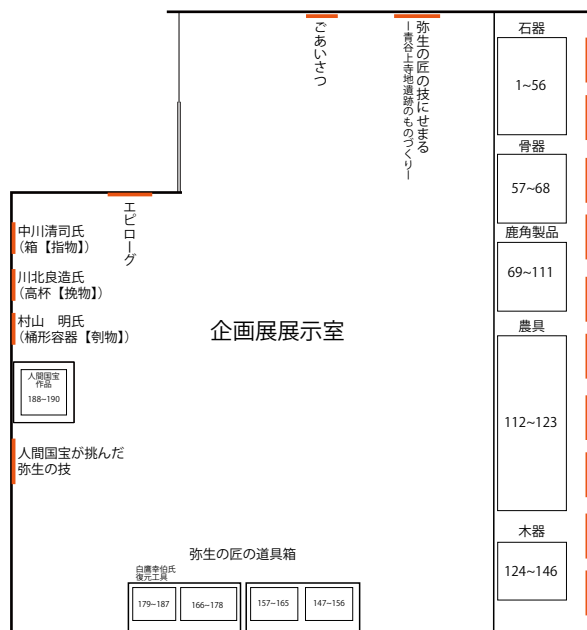


図1 会場レイアウト

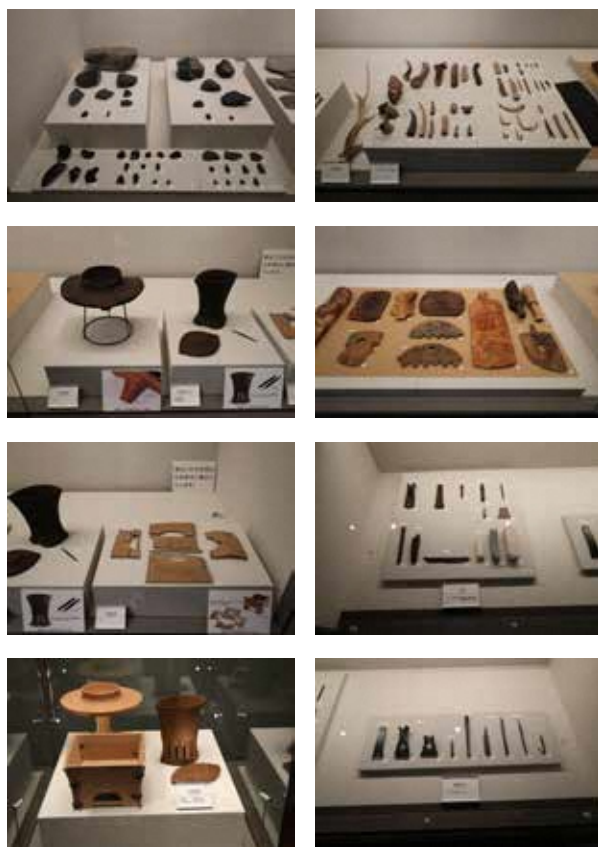


写真1 展示品

弥生の匠の技にせまる

青谷上寺地遺跡のものづくり

青谷上寺地遺跡では加工途中の道具やその素材が数多く見つかっています。このうち、石器や骨角器、玉などは、製作の手順や技術が明らかになってきました。「ものづくり」にはまず、材料の確保が不可欠です。遠方から取り寄せたものもありましたが、石材や木材、骨角などは地元で採取できるものが基本でした。また、「ものづくり」には、工具も欠かせません。状態の良い出土品の中には、当時の匠による加工痕が確認できます。加工痕を調べると、「どのような工具」「どのような作業」に使用していたのかが明らかになります。これらを通して、青谷上寺地遺跡の「匠の技」を読み解くことができるのです。

石製の道具【石器】の製作

青谷上寺地遺跡の石器製作資料には地元の石材による石鏃や石庖丁などが特に多くみられます。一方で隠岐産黒曜石や金山産サヌカイトなど遠方からの石材も利用されており、良質な遠方の石材とたくさんある地元の石材の両方を使用していました。

鹿角・骨製の道具【骨角器】の製作

青谷上寺地遺跡では、素材や加工途中も合わせて2,500点以上の骨角器が出土しています。シカやイノシシを主な素材とし、特にシカの角（鹿角）と中手骨・中足骨が多く利用されました。骨角器製作の手順は、「切断」と「分割」によって適度な大きさ・形状に切り分け、「粗加工」で荒砥石や工具で削って形を整えます。一部はその後「仕上げ」で磨いたり模様を描いたりして使用しました。硬い鹿角や骨の加工には、貴重な鉄製工具が重宝されました。

木製の道具・器【木器】の製作

青谷上寺地遺跡の木器・木製品は、3,800点以上を数え、種類也多岐にわたります。その中には製作途中の資料も数多く含まれ、集落内で製作したことが分かります。農具の製作工程を出土品から復元すると、①伐採した木材を分割（ミカン割り）して素材を作出し、②厚みを整えておおよその形に加工、③形を整えて柄の孔を穿孔する直前まで成形、④柄の孔を穿孔して刃部を形成して完成という手順になります。容器の場合は、「伐採」→「分割」→「粗加工」→「成形」→（「割付・装飾」）→「整形・仕上げ」という手順で製作されており、精緻な装飾を施す製品には細かな加工をする小型の鉄製工

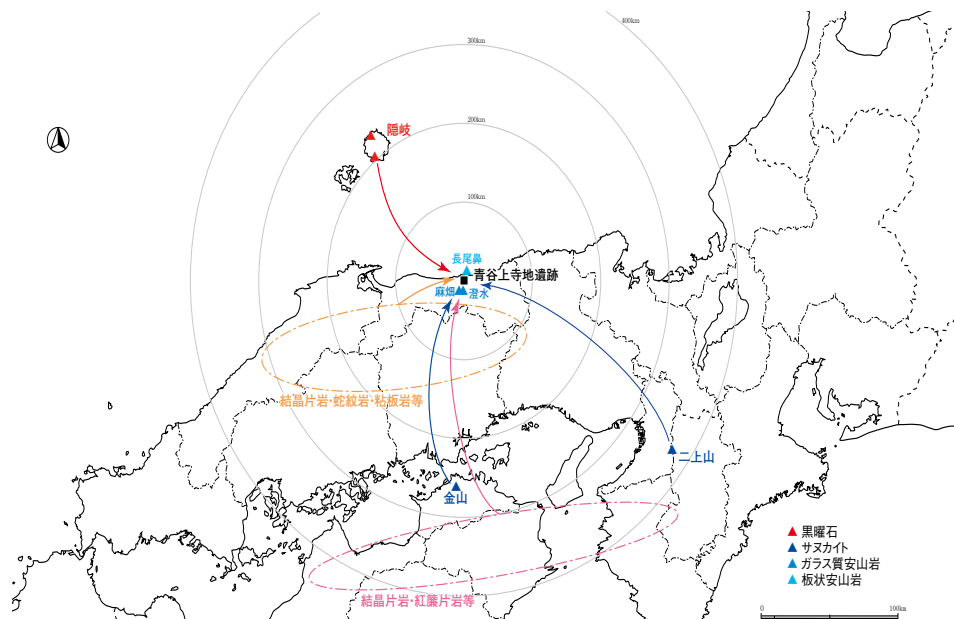


図2 石材搬入形態

具が不可欠でした。容器の成形方法に注目すると、木材を削り抜いて作る「刳物」、ロクロを使って工具で削りだす「挽物」、薄い板を筒状に丸めて底板にはめて固定する「曲物」、板材を組み合わせる「指物」などが認められます。これらの木工技術は、現代まで受け継がれています。また、樹種や木取りは形態や用途に合わせて意図的に選択されており、当時の匠たちの技や木の性質を熟知していた様子が窺えます。

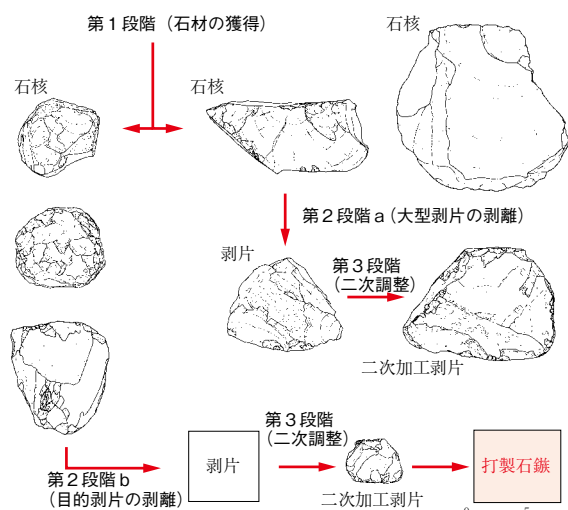


図3 石器製作工程模式図 (麻畑産 ガラス質安山岩)

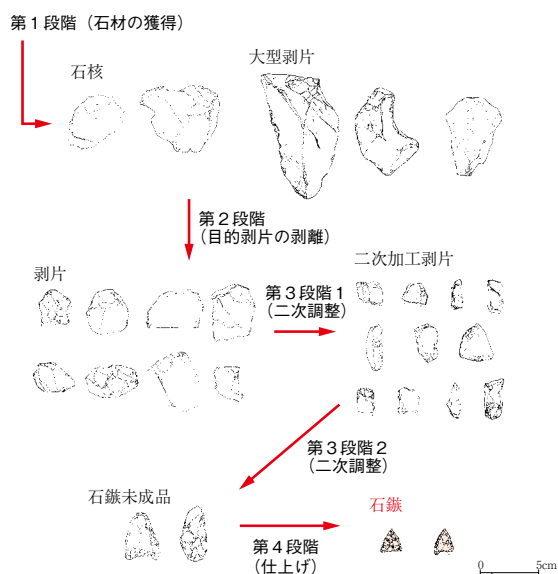


図4 石器製作工程模式図 (隠岐産黒曜石)

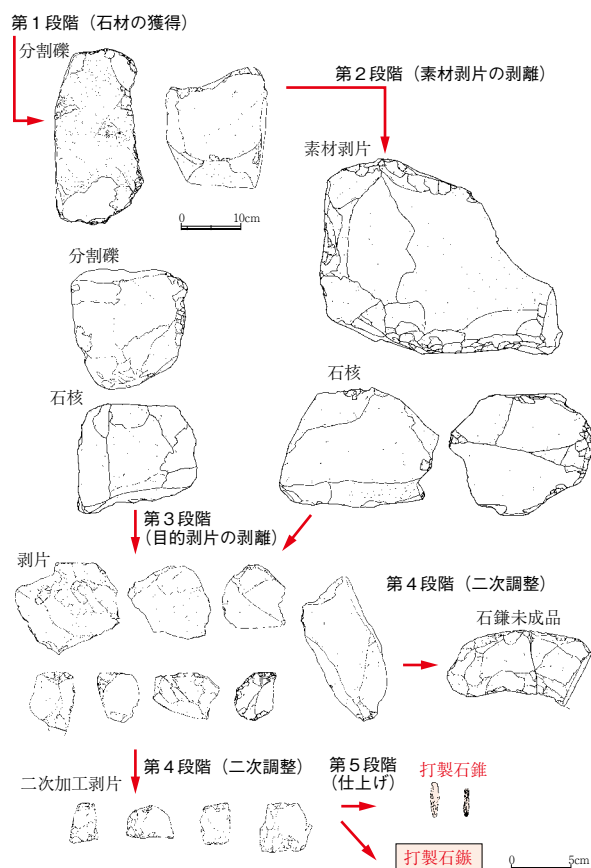


図5 石器製作工程模式図 (澄水産 ガラス質安山岩)

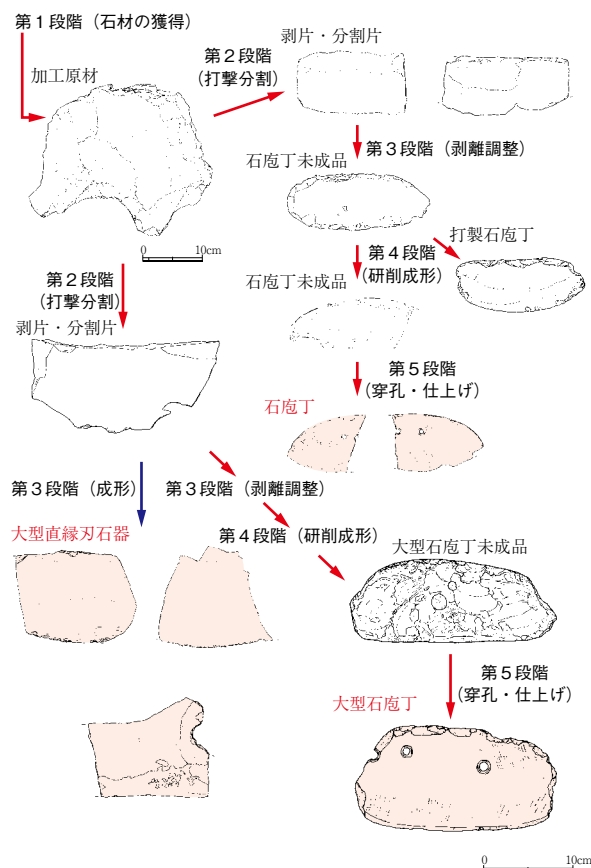


図6 石器製作工程模式図 (長尾鼻産 板状安山岩)

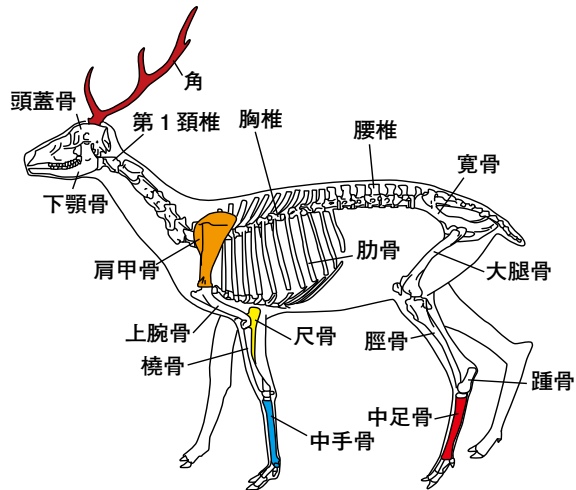
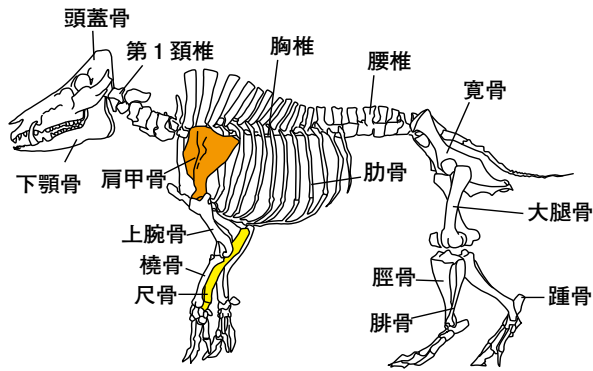


図7 イノシシ（上）とシカ（下）の骨格名称
（井上貴央ほか 2010 を一部改変）

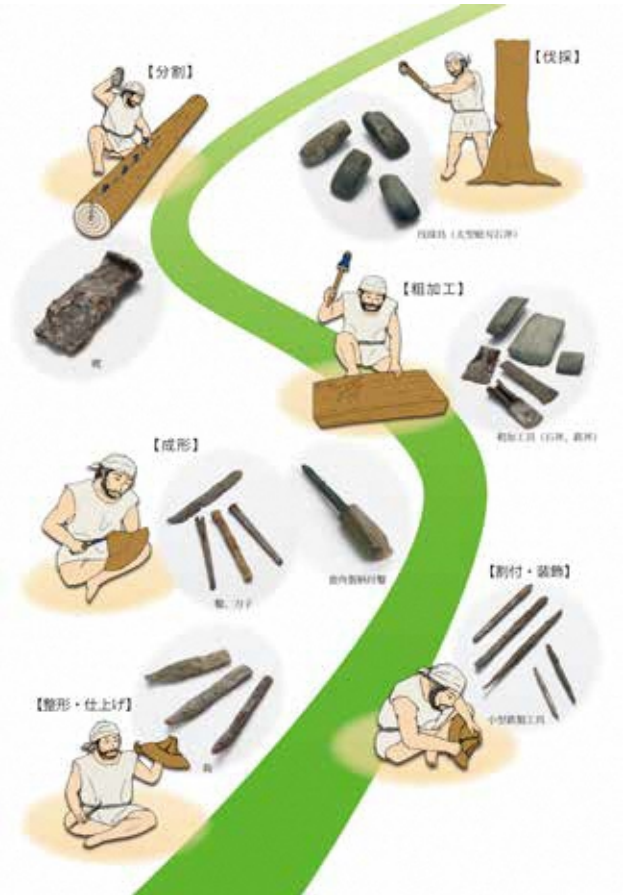


図10 木器製作の流れ

		工 程			
		切断	分割	粗加工(成形)	仕上げ(調整)
技 法	打割		打割	打ち欠き	研磨
	施溝		間接打撃	切削B	線刻
	削り切り		施溝	研削	塗布
	連続叩打		挟り込み	穿孔	
	打ち込み				

図8 骨角器における製作痕

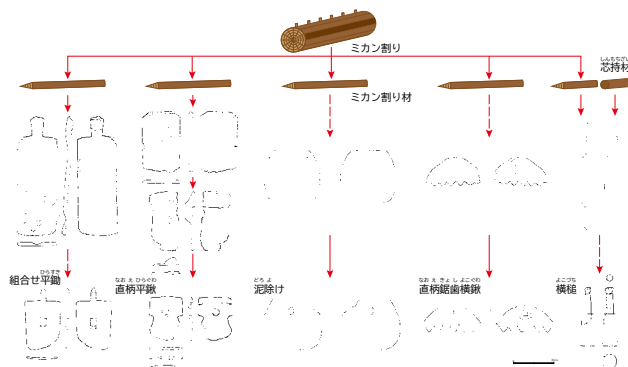


図9 木製農具の制作工程

弥生の匠の道具箱

青谷上寺地遺跡では、当時の匠が使用した石製・鉄製工具も数多く出土しています。弥生時代前期後葉～中期前葉（紀元前4～3世紀頃）には、工具は主に石器が用いられ、確認できる加工痕も石器によるものが多いです。「ものづくり」が盛んになった弥生時代中期中葉～後葉（紀元前2～紀元1世紀前半頃）には、鉄器の数と種類、鉄器による加工痕が増加し、工具の鉄器化が進んだことが分かります。「ものづくり」の最盛期である弥生時代後期～古墳時代前期初頭（紀元1世紀後半～3世紀半ば頃）には、鉄製工具の種類が細分化します。工具を鉄器化、細分化したことで、高度な技を発揮できたと考えられます。

白鷹 幸伯 氏 作「鉄製工具」

白鷹幸伯氏は、日本の伝統的な大工道具の製作を手がける鍛冶師です。薬師寺や平城宮の復元に使用される金属器製作にも携われています。今回は、愛媛大学教授・村上恭通氏監修のもと、青谷上寺地遺跡の鉄製工具を復元しました。

人間国宝が挑んだ弥生の技

平成20(2008)年、NHK教育テレビジョン（Eテレ）の番組「E TV特集 人間国宝 弥生の謎に挑む」が放送されました。この番組において、白鷹氏が作成された復元工具を使用し重要無形文化財保持者（いわゆる人間国宝）が青谷上寺地遺跡から出土した木器の再現に挑戦されました。人間国宝の中でも「木工芸」の認定を受けている川北良造氏、中川清司氏、村山明氏の3名です。この復元を通して「青谷上寺地の匠の技」が鮮明に甦り、当時のデザインや技術がいかに優れたものか、再認識することができました。

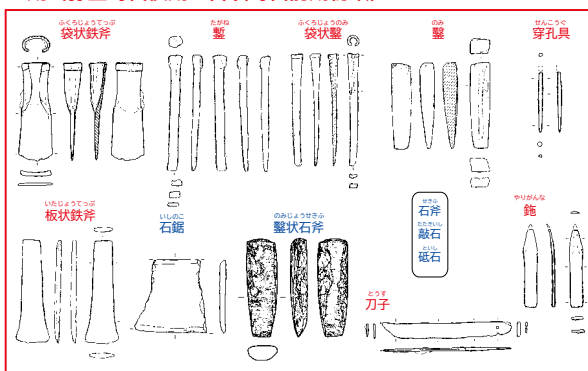
I期（弥生時代前期後葉～中期前葉）



II期（弥生時代中期中葉～中期後葉）



III期（弥生時代後期～古墳時代前期初頭）



工具器種名の色：石器（青） 鉄器（赤）

図11 青谷上寺地遺跡の工具の変遷



写真2 白鷹幸則氏作 鉄製工具

重要無形文化財「木工芸」保持者<人間国宝>

かわぎた りょうぞう

川北 良造 氏 作「高杯」【挽物】

川北良造氏は、「挽物」の技法で製作された可能性のある製品の復元に挑まれました。水平口縁の下側を削り見た目よりも軽やかに物を作る工夫や、脚柱部に細かな突帯を施すなど優れたデザインを目の当たりにし、その匠の技に畏敬の念を抱いたと述べておられます。

重要無形文化財「木工芸」保持者<人間国宝>

なかがわ きよつぐ

中川 清司 氏 作「箱」【指物】

中川清司氏は、指物の「箱」の復元に挑まれました。この箱は、底から口の部分に向かって、外側に緩やかなカーブを描きながら広がる形をしています。中川氏は、普段慣れない鉋を使用し、弥生の匠の技を見事に復元されました。

重要無形文化財「木工芸」保持者<人間国宝>

むらやま あきら

村山 明 氏 作「桶型容器」【刳物】

村山明氏は、美しいシルエットを持つ「桶型容器」に挑まれました。脚部のスリットを加工する際に、青谷上寺地遺跡特有の工具である「耳かき状工具」が使いやすかったそうです。内面の加工の細部に至るまで丁寧に当時の製作技術が復元されています。

エピローグ

青谷上寺地遺跡では、様々な「ものづくり」が行われていましたが、素材、手順、工具も多種多様で、必要な技術も異なります。匠たちは、素材や工具の性質を熟知した上で、腕を振るったのです。消耗品の鎌や石庖丁には石材が使われ続けますが、工具は鉄器化が進みました。工具に貴重な鉄を使用することで、秀麗な木製容器や骨角製の装飾品の製作が可能となり、匠たちの思い描くデザインをイメージ通りに表現できるようになりました。

自分の作りたいものを妥協せずに作り抜く

青谷上寺地遺跡の匠の技に触れることによって、当時の名工の思いが、私たちの前に甦ったように感じられます。



写真3 木製容器

(左：桶形容器【刳物】、右：高杯【挽物】、下：箱【指物】)



写真4 人間国宝の方々による木製容器の復元

(左：村山明氏作、右：川北良造氏作、下：中川清司氏作)

令和7年度第1期企画展

「弥生のもものづくりー青谷上寺地の匠の技」展示リスト

展示番号	種別	器種	指定	出土地	遺構・層位	時期	特記事項
1	石器	分割礫		県道7区	J層	弥生時代中期後葉	澄水産安山岩
2	石器	石核		県道6区	⑥層～⑫層	弥生時代前期後葉～中期前葉	澄水産安山岩
3	石器	分割礫		県道6区	⑤層	弥生時代前期後葉～中期前葉	澄水産安山岩
4	石器	剝片		県道5区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	澄水産安山岩
5	石器	剝片		県道5区	S K 8 6	弥生時代中期中葉～後葉	澄水産安山岩
6	石器	剝片		県道6区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	澄水産安山岩
7	石器	剝片		県道5区	⑥層	弥生時代前期後葉～中期前葉	澄水産安山岩
8	石器	二次加工剝片		県道5区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	澄水産安山岩
9	石器	石錐	重要文化財	県道5区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	澄水産安山岩
10	石器	石核		県道5区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	麻畑産安山岩
11	石器	石核		県道7区	M層	弥生時代前期後葉～中期前葉	麻畑産安山岩
12	石器	剝片		県道4区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	麻畑産安山岩
13	石器	二次加工剝片		県道5区	②層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	麻畑産安山岩
14	石器	二次加工剝片		県道6区	⑩層	弥生時代前期後葉～中期前葉	麻畑産安山岩
15	石器	石鏃未成品		県道6区	⑥層	弥生時代前期後葉～中期前葉	麻畑産安山岩
16	石器	石鏃		県道6区	S D 4 8	弥生時代前期後葉～中期前葉	麻畑産安山岩
17	石器	石核		県道7区～8区			黒曜石
18	石器	石核		県道8区	S A 8 2	弥生時代後期	黒曜石
19	石器	剝片		国道2区			黒曜石
20	石器	剝片		県道7区	H層	弥生時代後期	黒曜石
21	石器	剝片		国道2区	II層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	黒曜石
22	石器	剝片		県道5区	②層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	黒曜石
23	石器	剝片		県道8区	A層	弥生時代後期	黒曜石
24	石器	剝片		県道5区	⑤層	弥生時代前期後葉～中期前葉	黒曜石
25	石器	剝片		県道7区	I層	弥生時代中期後葉	黒曜石
26	石器	剝片		県道7区	M層	弥生時代前期後葉～中期前葉	黒曜石
27	石器	二次加工剝片		県道6区	S D 4 4	弥生時代前期後葉～中期前葉	黒曜石
28	石器	二次加工剝片		県道5区	⑤層	弥生時代前期後葉～中期前葉	黒曜石
29	石器	二次加工剝片		国道1区	III 1層	弥生時代中期中葉～後葉	黒曜石
30	石器	石鏃未成品		県道6区	③層～⑤層	弥生時代前期後葉～中期後葉	黒曜石
31	石器	石鏃未成品		県道5区	①層	弥生時代	黒曜石
32	石器	石鏃		県道5区	⑤層	弥生時代前期後葉～中期前葉	黒曜石
33	石器	石鏃		県道6区	⑦層	弥生時代前期後葉～中期前葉	黒曜石
34	石器	剝片		県道5区	②層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	金山産安山岩
35	石器	剝片		県道5区	⑤層	弥生時代前期後葉～中期前葉	金山産安山岩
36	石器	剝片		県道5区	⑤層	弥生時代前期後葉～中期前葉	金山産安山岩
37	石器	石鏃未成品		県道5区	焼土4 2	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	金山産安山岩
38	石器	石鏃未成品		県道7区	M層	弥生時代前期後葉～中期前葉	金山産安山岩
39	石器	石鏃未成品		県道6区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	金山産安山岩
40	石器	石鏃未成品		県道8区	A層	弥生時代後期	金山産安山岩
41	石器	石鏃		国道2区	II層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	金山産安山岩
42	石器	石鏃		県道6区	S K 3 3 0	弥生時代前期後葉～中期前葉	金山産安山岩
43	石器	石鏃		県道5区	①層	弥生時代	金山産安山岩
44	石器	石鏃		県道5区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	金山産安山岩
45	石器	加工原材		県道7区	J層～K層	弥生時代中期後葉	長尾鼻産板状安山岩
46	石器	剝片		1 7次	6 0ピット	弥生時代	長尾鼻産板状安山岩
47	石器	大型直縁刃石器	重要文化財	県道4区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	長尾鼻産板状安山岩
48	石器	大型直縁刃石器		県道7区	L層	弥生時代中期後葉	長尾鼻産板状安山岩
49	石器	大型石庖丁		県道7区	L層	弥生時代中期後葉	長尾鼻産板状安山岩
50	石器	剝片		県道6区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	長尾鼻産板状安山岩
51	石器	石庖丁未成品		県道5区			長尾鼻産板状安山岩
52	石器	石庖丁未成品		県道7区	I層	弥生時代中期後葉	長尾鼻産板状安山岩
53	石器	石庖丁未成品	重要文化財	県道5区	S K 6 4	弥生時代中期中葉～後葉	長尾鼻産板状安山岩
54	石器	石庖丁	重要文化財	県道7区	H層	弥生時代後期	長尾鼻産板状安山岩
55	石器	石庖丁		県道5区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	長尾鼻産板状安山岩
56	石器	石庖丁		県道5区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	長尾鼻産板状安山岩
57	獣骨	エゾジカ 中手骨					原生標本
58	獣骨	エゾジカ 中足骨					原生標本
59	骨角器	残核		県道5区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	シカ中手骨
60	骨角器	切断素材		国道2区			シカ中手骨
61	骨角器	残核		県道7区	①層～②層	弥生時代	シカ中手骨
62	骨角器	分割素材(接合)		県道7区	J層	弥生時代中期後葉	シカ中足骨
63	骨角器	骨鏃未成品		国道2区	II層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	シカ中手骨又は中足骨

展示番号	種別	器種	指定	出土地	層位・遺構	時期	特筆事項
64	骨角器	骨鏃	重要文化財	国道4区	S D 3 8 - 3	弥生時代終末期～古墳時代前期初頭	シカ中手骨又は中足骨
65	骨角器	骨鏃	重要文化財	国道2区	S K 2 6 0	弥生時代終末期～古墳時代前期初頭	シカ中手骨又は中足骨
66	骨角器	ヤス	重要文化財	県道7区	N層	弥生時代中期中葉	シカ中手骨又は中足骨
67	骨角器	針	重要文化財	国道2区	II S層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	シカ中手骨又は中足骨
68	骨角器	針	重要文化財	県道8区	E層	弥生時代中期中葉～後葉	シカ中手骨又は中足骨
69	獣骨	鹿角					原生標本
70	骨角器	切断素材		県道7区	L層	弥生時代中期後葉	鹿角
71	骨角器	残核		国道4区	II層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鹿角
72	骨角器	残核		国道4区			鹿角
73	骨角器	残核		県道6区	S D 5 1	弥生時代前期後葉～中期前葉	鹿角
74	骨角器	縦半裁途中		県道7区	J層	弥生時代中期後葉	鹿角
75	骨角器	分割素材		県道7～8区			鹿角
76	骨角器	縦半裁途中		県道8区			鹿角
77	骨角器	縦半裁		県道7区	J層	弥生時代中期後葉	鹿角
78	骨角器	分割素材		県道5区	③層以下	弥生時代中期後葉以前	鹿角
79	骨角器	切断素材		国道4区	I層?	弥生時代	鹿角
80	骨角器	切断素材		国道3区	V 4層	弥生時代前期後葉～中期前葉	鹿角
81	骨角器	柄未成品		県道6区			鹿角
82	骨角器	柄未成品		県道5区			鹿角
83	骨角器	筒状骨角器	重要文化財	県道5区	⑤層	弥生時代前期後葉～中期前葉	鹿角
84	骨角器	骨錘未成品		国道2区	II層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鹿角
85	骨角器	把頭	重要文化財	県道8区	S D 3 8	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鹿角
86	骨角器	弭未成品		県道5区	②層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鹿角
87	骨角器	弭	重要文化財	県道6区	S K 4 0 4	弥生時代後期	鹿角
88	骨角器	板状加工品(素材)		県道6区	②層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鹿角
89	骨角器	板状加工品(素材)		県道5区			鹿角
90	骨角器	骨錘	重要文化財	県道5区	②層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鹿角
91	骨角器	鈎状骨角器	重要文化財	県道8区	S D 5 6	弥生時代後期	鹿角
92	骨角器	骨鏃未成品		県道7区	②層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鹿角
93	骨角器	骨鏃未成品		県道6区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	鹿角
94	骨角器	根挟み	重要文化財	県道7区	②層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鹿角
95	骨角器	分割素材		県道5区			鹿角
96	骨角器	アワビオコシ	重要文化財	県道7区	N層	弥生時代中期中葉	鹿角
97	骨角器	板状加工品(素材)		県道5区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	鹿角
98	骨角器	区	重要文化財	県道4区	S D 1 1	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鹿角
99	骨角器	骨鏃未成品		県道7区	H層	弥生時代後期	鹿角
100	骨角器	骨鏃	重要文化財	県道8区	集石9	弥生時代中期中葉～後葉	鹿角
101	骨角器	骨鏃	重要文化財	県道7区	I層	弥生時代中期後葉	鹿角
102	骨角器	結合式鈎針(軸部)未成品	重要文化財	国道2区	II層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鹿角
103	骨角器	結合式鈎針(軸部)	重要文化財	県道6区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	鹿角
104	骨角器	鈎針未成品		県道7区	集石17	弥生時代中期中葉～後葉	猪牙
105	骨角器	結合式鈎針(針部)	重要文化財	県道5区	②層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	猪牙
106	骨角器	鈎針未成品		県道6区			鹿角
107	骨角器	単式鈎針	重要文化財	県道5区	⑤層	弥生時代前期後葉～中期前葉	鹿角
108	骨角器	離頭銛未成品		県道6区	②層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鹿角
109	骨角器	離頭銛	重要文化財	県道7区	J層	弥生時代中期後葉	鹿角
110	骨角器	ヤス未成品		県道7区	H層	弥生時代後期	鹿角
111	骨角器	ヤス	重要文化財	県道7区	H層	弥生時代後期	鹿角
112	木器	ミカン割り材		県道4区			
113	木器	直柄平鏃未成品	重要文化財	県道7区	L層	弥生時代中期後葉	
114	木器	直柄平鏃未成品	重要文化財	県道7区	N層	弥生時代中期中葉	
115	木器	直柄平鏃未成品	重要文化財	県道7区	M層	弥生時代前期後葉～中期前葉	
116	木器	直柄平鏃	重要文化財	D調査区	1 6層	弥生時代中期後葉	
117	木器	泥除未成品	重要文化財	県道7区	L層	弥生時代中期後葉	
118	木器	直柄横鏃未成品	重要文化財	国道4区	S D 3 8 - 2	弥生時代後期～終末期	
119	木器	直柄横鏃	重要文化財	県道4区	S D 1 1	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
120	木器	組合せ平鋤未成品		県道7区	K層	弥生時代中期後葉	
121	木器	組合せ平鋤	重要文化財	県道8区	S D 3 8	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
122	木器	横槌未成品	重要文化財	国道2区	II層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
123	木器	横槌	重要文化財	国道1区	S D 1 1	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
124	木器	片口未成品	重要文化財	県道4区	S D 1 1	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
125	木器	片口	重要文化財	県道8区	S D 5 6	弥生時代後期	
126	木器	匙未成品	重要文化財	県道8区	S D 5 6	弥生時代後期	
127	木器	匙未成品	重要文化財	県道7区	S D 2 7	弥生時代中期後葉	
128	木器	匙未成品		県道7区	K層	弥生時代中期後葉	
129	木器	匙未成品		県道4区	S A 4 ～ 6	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
130	木器	匙	重要文化財	県道4区	S A 4 ～ 6	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
131	木器	匙	重要文化財	県道7区	J層	弥生時代中期後葉	
132	木器	蓋未成品	重要文化財	県道7区	J層	弥生時代中期後葉	

Ⅱ - 1 令和7年度第1期企画展 記録

展示番号	種別	器種	指定	出土地	遺構・層位	時期	特筆事項
133	木器	蓋未成品	重要文化財	県道7区	S A 2 6	弥生時代中期後葉	
134	木器	蓋	重要文化財	県道8区	S D 5 4	弥生時代後期	
135	木器	蓋	重要文化財	県道7区	J 層	弥生時代中期後葉	
136	木器	蓋	重要文化財	県道7区	S D 2 7	弥生時代中期後葉	
137	木器	蓋未成品	重要文化財	県道7区	K 層	弥生時代中期後葉	
138	木器	蓋	重要文化財	県道4区	S D 1 1	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
139	木器	高杯未成品		県道7区	K 層	弥生時代中期後葉	
140	木器	椀形容器未成品	重要文化財	県道7区	I 層	弥生時代中期後葉	
141	木器	椀形容器	重要文化財	県道7区	K 層	弥生時代中期後葉	
142	木器	高杯	重要文化財	国道4区			
143	木器	桶形容器蓋	重要文化財	県道7区	J 層	弥生時代中期後葉	
144	木器	桶形容器	重要文化財	県道7区	J 層	弥生時代中期後葉	
145	鉄器	耳かき状工具	重要文化財	県道5区	②層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
146	木器	箱	重要文化財	県道8区	S D 3 8	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
147	石器	扁平片刃石斧	重要文化財	国道3区	V 4 層	弥生時代前期後葉～中期前葉	
148	石器	扁平片刃石斧	重要文化財	県道5区	⑤層	弥生時代前期後葉～中期前葉	
149	石器	扁平片刃石斧	重要文化財	県道5区	貝塚	弥生時代前期後葉～中期前葉	
150	石器	鑿状片刃石斧	重要文化財	県道6区	⑥層	弥生時代前期後葉～中期前葉	
151	石器	鑿状片刃石斧	重要文化財	県道5区	⑤層	弥生時代前期後葉～中期前葉	
152	石器	鑿状片刃石斧	重要文化財	県道6区	⑤層	弥生時代前期後葉～中期前葉	
153	石器	石錐	重要文化財	県道6区	S K 3 2 1	弥生時代前期後葉～中期前葉	
154	鉄器	鑄造鉄斧	重要文化財	県道6区	⑥層～⑫層	弥生時代前期後葉～中期前葉	
155	石器	石鋸	重要文化財	県道5区	⑤層	弥生時代前期後葉～中期前葉	
156	石器	石鋸		県道5区	⑤層	弥生時代前期後葉～中期前葉	
157	鉄器	板状鉄斧	重要文化財	県道7区	I 層	弥生時代中期後葉	
158	鉄器	板状鉄斧	重要文化財	県道7区	I 層以下	弥生時代中期後葉以前	
159	鉄器	板状鉄斧	重要文化財	県道6区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	
160	石器	扁平片刃石斧	重要文化財	県道4区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	
161	石器	扁平片刃石斧	重要文化財	県道4区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	
162	鉄器	袋状鉄斧	重要文化財	県道7区	I 層	弥生時代中期後葉	
163	鉄器	ヤリガンナ	重要文化財	県道7区	I 層	弥生時代中期後葉	
164	石器	石鋸	重要文化財	県道6区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	
165	石器	石錐		県道6区	③層	弥生時代中期中葉～後葉	
166	鉄器	袋状鉄斧	重要文化財	県道7区	H 層	弥生時代後期	
167	鉄器	板状鉄斧	重要文化財	県道7区	②層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
168	鉄器	鑿	重要文化財	県道4区	②層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
169	鉄器	鑿	重要文化財	県道4区	②層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
170	鉄器	鑿	重要文化財	国道2区	II 層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
171	鉄器	ヤリガンナ	重要文化財	県道7区	P 3 1 9	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
172	鉄器	穿孔具	重要文化財	県道7区	②層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
173	鉄器	刀子	重要文化財	県道8区	S D 3 8	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
174	石器	鑿状片刃石斧	重要文化財	県道5区	焼土 5 3	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
175	石器	石鋸	重要文化財	県道5区	②層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
176	石器	砥石	重要文化財	国道2区	II 層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
177	石器	砥石	重要文化財	県道7区	H 層	弥生時代後期	
178	石器	砥石	重要文化財	県道7区	②層	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
179	復元品	板状鉄斧					白鷹幸伯 氏 作
180	復元品	袋状鉄斧					白鷹幸伯 氏 作
181	復元品	袋状鉄斧					白鷹幸伯 氏 作
182	復元品	鑿					白鷹幸伯 氏 作
183	復元品	鑿					白鷹幸伯 氏 作
184	復元品	ヤリガンナ					白鷹幸伯 氏 作
185	復元品	ヤリガンナ					白鷹幸伯 氏 作
186	復元品	耳かき状鉄器					白鷹幸伯 氏 作
187	復元品	鉤状工具					白鷹幸伯 氏 作
188	復元品	高杯					川北良造 氏 作
189	復元品	箱					中川清司 氏 作
190	復元品	桶形容器					村山 明 氏 作

